

---

2022年度第3四半期決算 及び  
2022年度業績見通し

---

説明資料

帝人株式会社

2023年2月8日

# 今回公表のポイント

## ■3Q累計実績（前年同期対比）

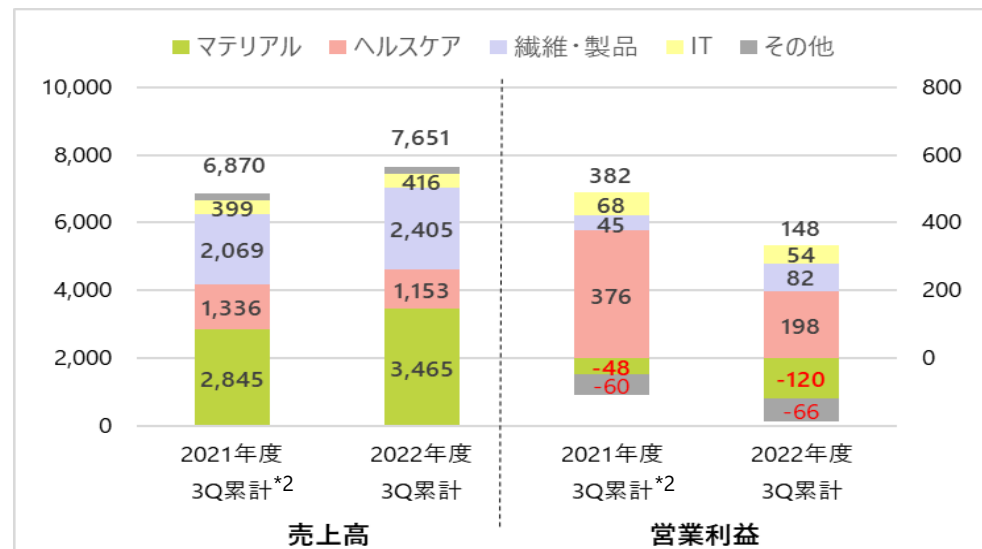
- 堅調な需要を背景とした販売増、原燃料価格高騰に対応した販売価格改定および為替影響等で、売上高は11.4%増の7,651億円となるも、営業利益は61.1%減の148億円
  - **マテリアル**：自動車・航空機用途を中心とした販売量の増加や為替影響等が利益貢献するも、米国拠点での設備故障による生産性悪化、欧州拠点での労働力不足や工場火災による生産量低下、中国でのロックダウンや経済減速、原燃料価格高騰および物流費増等の影響で減益となり営業赤字（▲120億円）
  - **ヘルスケア**：医薬品「フェブリク」の後発品参入や薬価改定等で減益
- 四半期純損益は減損損失の計上や海外子会社の赤字幅拡大に伴う税負担率の上昇により、▲71億円の損失（前年同期は258億円の利益）

## ■通期業績見通し（前回見通し\*1対比）

- 売上高1兆300億円（前回見通し：1兆500億円）、営業利益100億円（前回見通し：250億円）へ見通しを修正（減収・減益）
  - **マテリアル**の欧州拠点での工場火災、米国拠点での設備故障復旧後の立上げ遅延等により大幅減益の見通し
- 当期純損益見通しを複合成形材料ののれん減損の計上等の影響で▲180億円の損失に修正（前回見通し：160億円の当期純利益）
- 年間配当見通しは40円（中間27.5円、期末予想12.5円）で前回見通しから変更なし

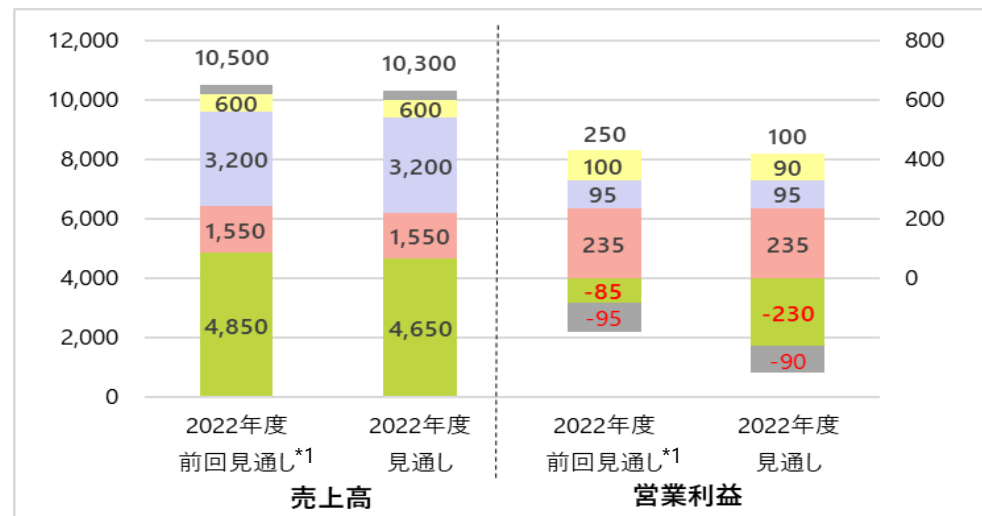
### 3Q累計実績（前年同期対比）

（単位：億円）



### 通期業績見通し（前回見通し\*1対比）

（単位：億円）



\*1 2022年11月7日公表

\*2 2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

# 当社の主要ターゲット市場の前提（2022年度）

需要は全般的に堅調の見通しであるが、自動車用途を中心に先行きは不透明感が漂う

事業	市場	主な地域	3Q累計実績	4Q見通し	
マテリアル	アラミド	自動車	欧州 米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に欧州での高級車/EV向けタイヤ需要が好調</li> <li>米国も引き続き需要は堅調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先行きは減速感あるも、4Qは引き続き堅調な需要を見込む</li> </ul>
		産業資材	欧州 米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>光ファイバー用途は高水準な需要が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き需要は堅調に推移</li> </ul>
		防弾・防護	欧州 米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>防弾・防護とも需要は堅調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き需要は堅調に推移</li> </ul>
	樹脂	事務機	中国 アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国ロックダウンによる部品調達難および需要減により、顧客の稼働が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要減が継続</li> </ul>
		自動車	日本、中国 アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体/電子部品不足、および中国ロックダウンを受け、顧客の稼働が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国を中心に需要減を見込む</li> </ul>
	炭素繊維	航空機	欧州 米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅客機利用者数の回復で旅客機需要は好調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き需要は堅調に推移</li> </ul>
	複合成形	自動車	米国、欧州 中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体不足やサプライチェーンの混乱影響を受け、OEMでの生産制約が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要堅調な中、半導体不足によるOEMでの生産制約は徐々に解消を見込む</li> </ul>

## 当社の主要ターゲット市場の前提（2022年度）

事業	市場	主な地域	3Q累計実績	4Q見通し
ヘルスケア	医薬品	日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>痛風・高尿酸血症患者数は拡大基調だが、後発品参入により市場規模（薬価売上）は縮小</li> <li>糖尿病薬市場は微増も、厳しい競争環境が継続</li> <li>COVID-19影響により病院では訪問規制が継続し、e-プロモーション強化が継続</li> </ul>	
	在宅医療		<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅酸素療法（HOT）市場では、入院抑制により在宅療養へのシフトが継続しているもののCOVID-19による在宅酸素療法（HOT）導入は落ちつきつつある</li> <li>在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場は拡大継続するが、COVID-19第8波等の影響により検査数の回復はやや鈍化</li> </ul>	
繊維・製品	衣料繊維	欧米・中国 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米・中国の市況は堅調に推移するも、期後半からペースが減速</li> <li>国内は行動規制の緩和により消費は回復傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米はインフレ・利上げにより、中国は感染症拡大により市況は弱含み</li> <li>国内は物価上昇し消費マインド低下</li> </ul>
	産業資材	日本 中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途は回復基調であるが、半導体不足影響あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体不足は徐々に正常化</li> <li>中国は感染症拡大により市況は弱含み</li> </ul>
IT	電子コミック	日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子コミックにおける海賊版サイトの影響が軽減される中、市場の成長は継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海賊版サイトの影響は残るものの、市場の成長は継続</li> </ul>

1. 2022年度第3四半期決算 P. 5
2. 2022年度業績見通し P.13
3. 参考資料 P.21

---

#### 見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。当資料に含まれている医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2023年2月8日午前11時に公表した弊社決算に基づくものです。

---

# 1. 2022年度第3四半期決算

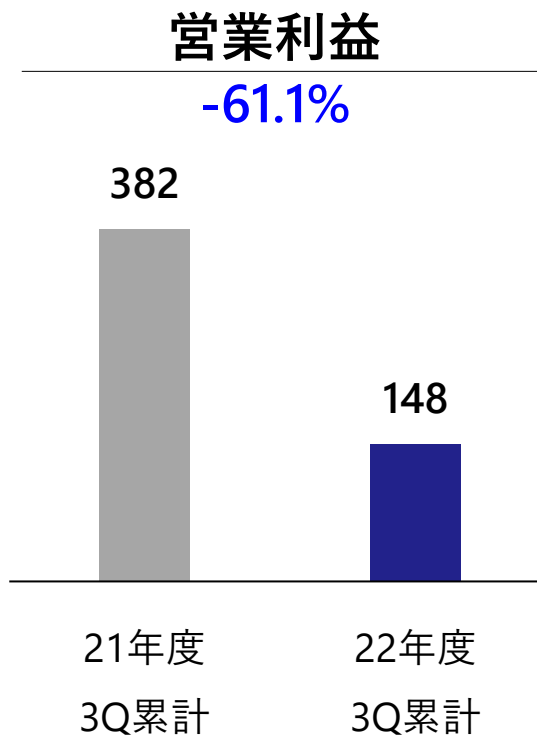
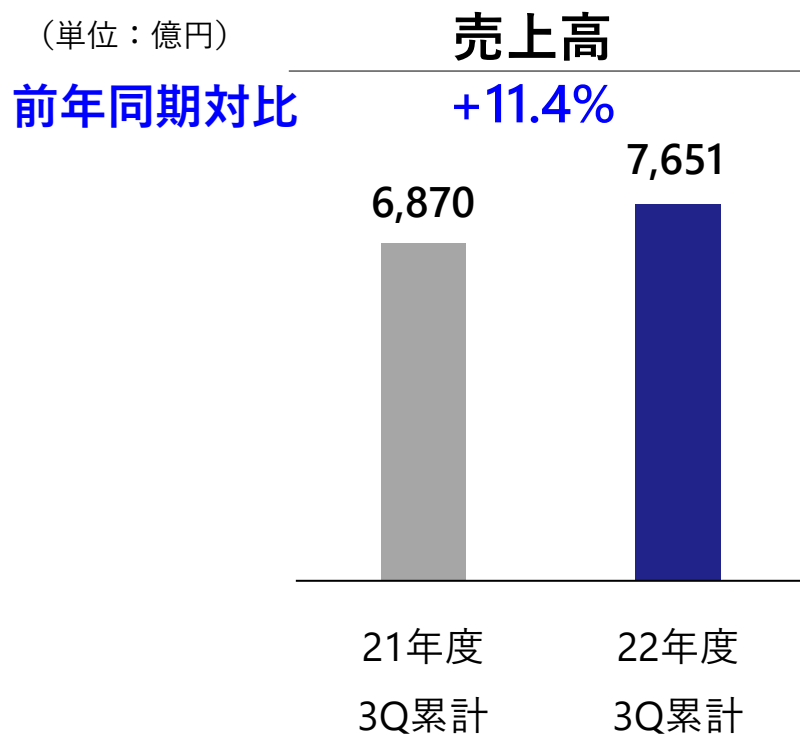
## ◆ 実績ハイライト [前年同期対比]

【売上高】 マテリアルでの堅調な需要を背景とした自動車・航空機用途の販売量増加に加え、原燃料価格高騰に対応した販売価格改定および為替影響等により、全体で11.4%の増収

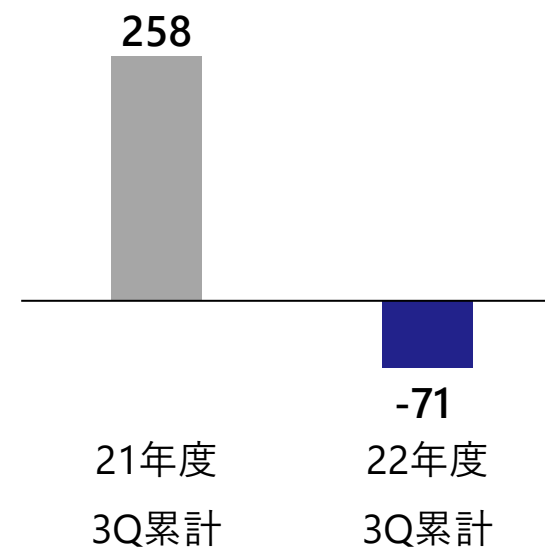
【営業利益】 マテリアルは米国拠点での設備故障による生産性悪化、欧州拠点での労働力不足による生産性悪化や工場火災等による生産量低下、中国ロックダウンおよびその後の経済減速による需要減、原燃料価格高騰および物流費増等で減益となり営業赤字。ヘルスケアは医薬品「フェブリク」の後発品参入による販売減や薬価改定等で減益。全体では61.1%の減益

【四半期純利益】 営業利益減に加え、複合成形材料での減損損失の計上、海外子会社の赤字幅拡大に伴う税負担率の上昇により、▲71億円の損失

(単位：億円)



**親会社株主に帰属する  
四半期純利益**  
損失△



## ◆ 実績サマリー [前年同期対比]

	(億円)			
	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	6,870	7,651	+781	+11.4%
営業利益	382	148	-233	-61.1%
営業外損益	32	26	-5	-16.8%
経常利益	413	175	-239	-57.8%
特別損益	22	-83	-105	-
税金等調整前 四半期純利益	435	91	-344	-79.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	258	-71	-329	-
ROE <sup>*1</sup>	8.2%	-2.2%	-10.4%	-
営業利益ROIC <sup>*2</sup>	6.4% <sup>*3</sup>	2.4%	-4.0%	-
EBITDA <sup>*4</sup>	893	707	-185	-20.8%

\*1 「親会社株主に帰属する四半期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

\*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本\*」にて算出

(\*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

\*1、\*2は年換算後の数値

\*3 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

	(億円)			
	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	差異	増減率
設備投資 <sup>*5</sup>	1,810	429	-1,381	-76.3%
(設備投資 調整後※)	(486)			
減価償却費 <sup>*6</sup>	511	559	+48	+9.4%
研究開発費	223	234	+11	+5.0%

※糖尿病薬販売権等承継による無形固定資産増（1,324億円）を除く

◇為替・市況燃料価格	21年度	22年度
	3Q累計	3Q累計
PL換算レート		
円／米ドル	111	137
円／ユーロ	131	141
原油(Dubai)価格 (米ドル／バレル)	72	96
欧州天然ガス価格 (ユーロ／MWh)	56	136

\*4 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

\*5 設備投資には無形固定資産の取得を含む (M&Aは含まず)

\*6 のれん償却含む



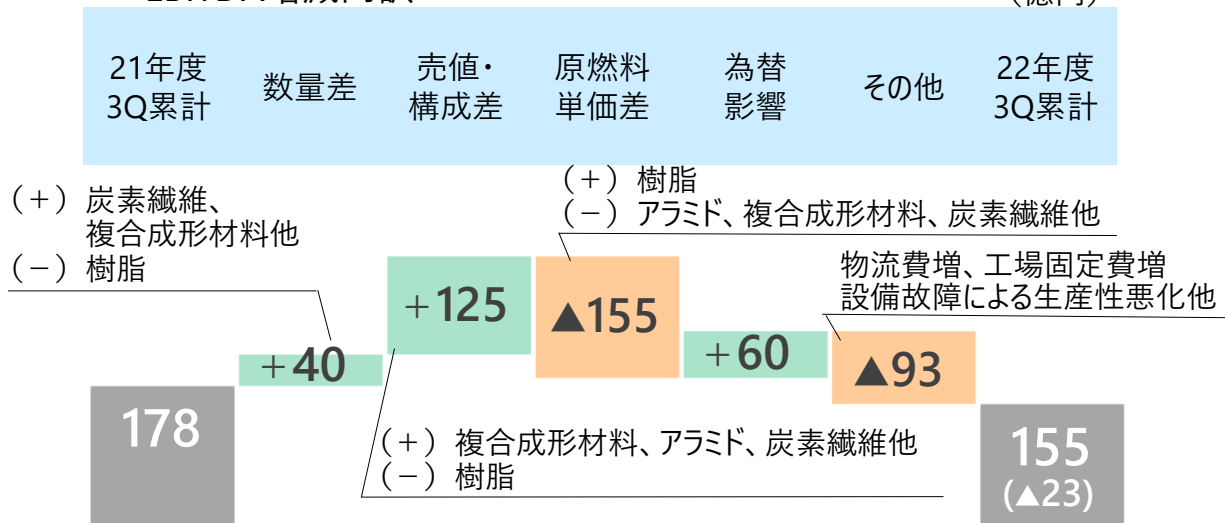
## ◆ マテリアルセグメント [前年同期対比]

(億円)

	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
売上高	2,845	3,465	+619	+21.8%
EBITDA	178	155	-23	-12.8%
減価償却費	226	275	+49	+21.7%
営業利益	-48	-120	-72	-
営業利益ROIC	-2%	-4%	-2%	-

## &lt; EBITDA増減内訳 &gt;

(億円)



## ■ アラミド繊維 (増収・増益)

- 労働需給の逼迫やサプライヤーの主要消耗品供給制約等による生産性悪化および原料工場火災による生産ラインの休止等による生産量低下により販売量が減少
- 天然ガス価格上昇がコストに大きく影響しており、販売価格改定を実施
- 為替影響が収益に貢献

## ■ 樹脂 (減収・減益)

- 中国ロックダウンおよびその後の中国経済減速の影響を受けて、工場の稼働率が低下し販売量が減少

## ■ 炭素繊維 (増収・増益)

- 用途全般において需要は堅調
- 航空機向けの販売量が増加したことにより、販売構成が改善
- 主原料であるANの価格高騰を受けて、販売価格改定を実施

## ■ 複合成形材料 (増収・減益)

- 半導体を含む原材料や部品の不足等によるOEMの生産休止の影響が徐々に軽減したほか、新大型プログラムの販売本格化もあり、販売量が増加
- 原材料価格の高騰が継続しており、販売価格改定を実施
- 労働需給逼迫による労働力不足で低生産性が継続
- 設備故障による生産性悪化および追加費用の発生

## ■ 電池部材 (増収・増益)

- セパレータのスマートフォン向けの需要が好調で、販売量が増加

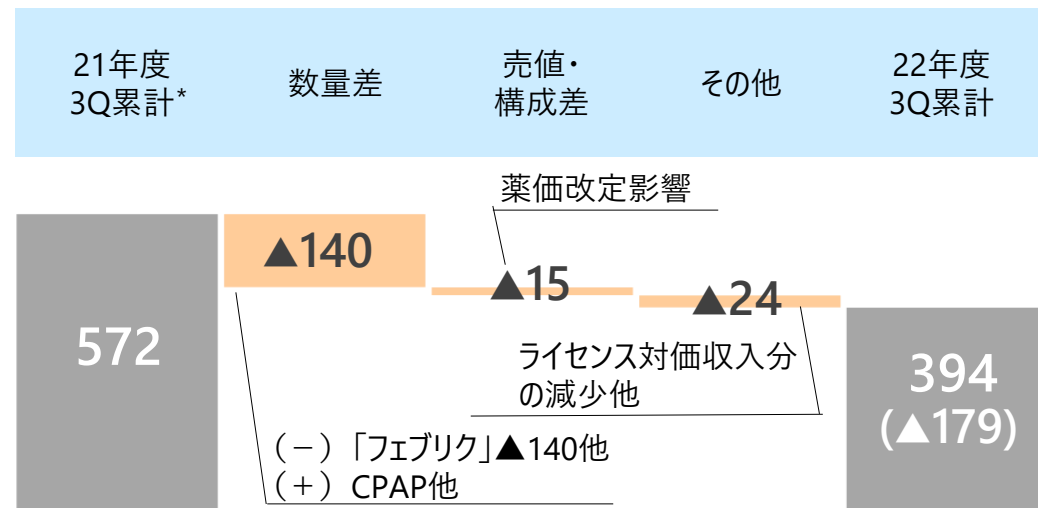
## ◆ ヘルスケアセグメント [前年同期対比]

(億円)

	21年度 3Q累計*	22年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
売上高	1,336	1,153	-183	-13.7%
EBITDA	572	394	-179	-31.2%
減価償却費	197	196	-1	-0.6%
営業利益	376	198	-177	-47.2%
営業利益ROIC	24%	14%	-9%	-

## &lt; EBITDA増減内訳 &gt;

(億円)



## ■ 医薬品

- 2022年6月に「フェブリク\*1」の後発品が参入し販売量減少
- 糖尿病治療剤の販売が堅調に推移
- 「ソマチュリン\*2」や「ゼオマイン\*3」の販売量が順調に拡大
- 薬価改定影響および前年同期のライセンス対価収入計上の反動あり
- 2023年1月に骨粗鬆症治療剤「オスタバロ 1.5mg」上市

## ■ 在宅医療

- HOT：入院抑制により在宅療養へのシフトが継続しているもののCOVID-19による酸素濃縮器の導入は落ち着きつつあり、レンタル台数は前年度並み
- CPAP：COVID-19 第8波等の影響により検査数の回復はやや鈍化しているものの、レンタル台数の増加が継続

\*1 痛風・高尿酸血症治療剤

\*2 先端巨大症・下垂体性巨人症/甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍/腓・消化管神経内分泌腫瘍治療剤  
ソマチュリン®/Somatuline®は、Ipsen Pharma (仏) の登録商標です

\*3 上肢・下肢痙縮治療剤。ゼオマイン®/Xeomin®は、Merz Pharma GmbH &amp; Co, KGaA (独) の登録商標です

\*2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

## ◆ 繊維・製品セグメント [前年同期対比]

(億円)

	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
売上高	2,069	2,405	+336	+16.3%
EBITDA	93	133	+40	+43.6%
減価償却費	48	51	+4	+8.2%
営業利益	45	82	+37	+80.7%
営業利益ROIC	5%	8%	+3%	-

## ◆ ITセグメント [前年同期対比]

(億円)

	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
売上高	399	416	+17	+4.3%
EBITDA	77	59	-18	-23.2%
減価償却費	9	5	-4	-41.1%
営業利益	68	54	-14	-20.8%
営業利益ROIC	58%	47%	-11%	-

## ■ 繊維・製品セグメント (増収・増益)

- 産業資材分野：水処理フィルター向けポリエステル短繊維、自動車関連部材、人工皮革は堅調
- 衣料繊維分野：欧米・中国向けのテキスタイル・衣料品の販売が好調に推移
- 原燃料価格や物流費の高騰、円安影響による仕入れコスト上昇が業績に影響したものの、繊維原料・テキスタイルの販売価格改定を遂行

## ■ ITセグメント (増収・減益)

- ネットビジネス分野では、電子コミックサービスにおいて広告宣伝活動の強化を継続し、販売は好調に推移
- ITサービス分野では、企業向けは堅調に推移した一方で、ヘルスケア事業がCOVID-19影響あり

## ■ その他 エンジニアリング事業、埋込型医療機器事業、再生医療事業 等

- 人工関節・吸収性骨接合材等の埋込型医療機器事業において、2022年2月のKiSCO（株）からの外傷・脊椎事業買収の影響と人工関節の販売好調により増収
- 再生医療事業の（株）ジャパン・ティッシュエンジニアリング（J-TEC）において、自家培養軟骨「ジャック」および自家培養口腔粘膜上皮「オキュラル」の売上が拡大した一方、自家培養表皮「ジェイス」の売上が減少した影響等により減収減益

## ◆ 営業外損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	差異
受取利息	3	8	+5
受取配当金	10	11	+1
持分法による投資利益	43	39	-5
デリバティブ評価益	25	76	+50
その他	8	7	-2
営業外収益 計	90	140	+50
支払利息	24	55	+31
為替差損	14	49	+35
デリバティブ評価損	4	0	-4
その他	17	10	-8
営業外費用 計	59	114	+55
営業外損益 計	32	26	-5

## ◆ 特別損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	差異
固定資産売却益	1	51	+50
投資有価証券売却益	53	54	+1
その他	2	2	+0
特別利益 計	56	107	+51
固定資産除売却損	13	10	-3
投資有価証券評価損	-	15	+15
減損損失	19	159*	+140
その他	2	7	+4
特別損失 計	34	190	+156
特別損益 計	22	-83	-105

\*TAT-US社に関するのれんに係る減損損失154億円他

## ◆ 財政状態 [前年度末対比]

				(億円)	
	22年 3月末	22年 12月末	差異	内 為替 換算影響	
総資産	12,076	12,390	+314	+219	
負債	7,428	7,863	+435	+139	
(内 有利子負債)	4,852	5,236	+385	+109	
純資産	4,648	4,527	-121	+80	
D/Eレシオ <sup>*1</sup>	1.10	1.23	+0.12	-	
D/Eレシオ (資本性調整後) <sup>*2</sup>	0.97	1.08	+0.11	-	

## ◇ 総資産 増減内訳

	(億円)		
	22年 3月末	22年 12月末	差異
現金及び預金	1,345	1,489	+144
売上債権 <sup>*4</sup>	1,968	1,828	-140
棚卸資産	1,646	2,021	+375
固定資産	5,063	4,949	-113
投資有価証券	850	844	-6
その他	1,204	1,258	+54
総資産 計	12,076	12,390	+314

## ◆ キャッシュ・フローの状況 [前年同期対比]

	(億円)		
	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	差異
営業活動	638	438	-200
投資活動	-1,798 <sup>*3</sup>	-399	+1,398
フリー・キャッシュ・フロー	-1,160	38	+1,198
財務活動他	762	106	-656
現金及び現金同等物増減	-398	144	+542

\* キャッシュ・フローについては金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外

## ◇ BS換算レート

	22年	22年
	3月末	12月末
円/米ドル	122	133
円/ユーロ	137	141

\*1 「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

\*2 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

\*3 糖尿病薬販売権等承継 (無形固定資産増 (1,324億円)) 等

\*4 契約資産含む

## 2. 2022年度業績見通し

## ◆ 通期業績見通しハイライト [前年度対比、前回見通し\*対比]

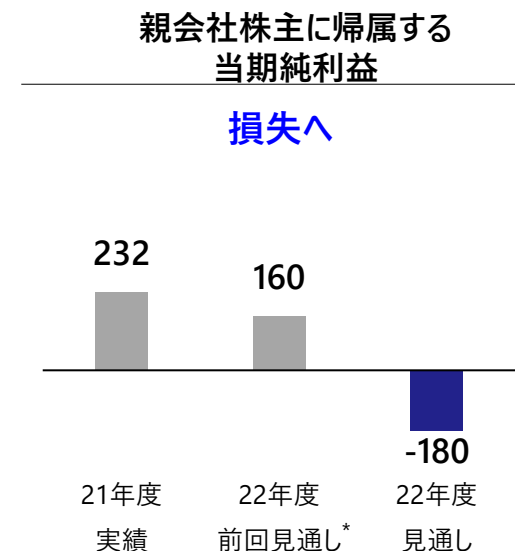
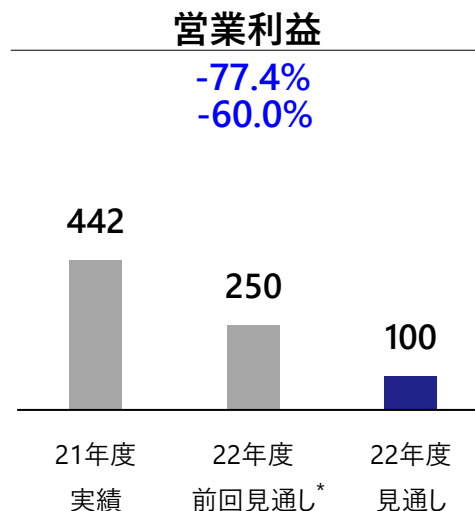
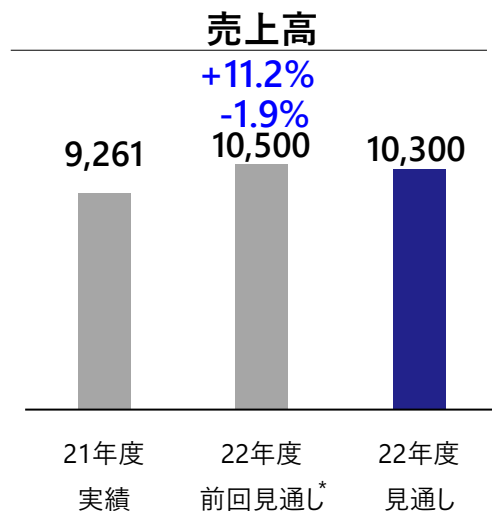
## 【前年度対比】

- 売上はマテリアルでの堅調な需要を背景とした生産能力増強、新工場稼働に伴う販売量増効果、原燃料価格高騰に対応した販売価格改定、為替影響等により増収となる見通し
- 営業利益はマテリアルでの米国拠点での設備故障による生産性悪化、欧州拠点での工場火災による生産量低下や労働力不足による生産性悪化、欧州天然ガス価格の高騰、ヘルスケアでの医薬品「フェブリク」の後発品参入による販売量減影響等で営業減益となる見通し
- 当期純利益は営業利益減に加え、複合成形材料での減損損失の計上、海外子会社の赤字幅拡大に伴う税負担率の上昇により損失となる見通し

## 【前回見通し\*対比】

- 売上はマテリアルで欧州拠点での工場火災による生産量低下による販売数量の減少等により、前回見通しを若干下回る見込み
- 営業利益はマテリアルで欧州拠点での工場火災による生産量低下、米国拠点での設備故障復旧後の立上げ遅延による生産性の改善遅れ等により前回見通しを大きく下回る見込み
- 当期純利益は営業利益減に加え、複合成形材料での減損損失の計上、海外子会社の赤字幅拡大に伴う税負担率の上昇により損失となる見通し

(単位：億円)

前年度対比  
前回見通し\*対比

## 前提条件

	21年度	22年度 前回見通し*	22年度 見通し
通期平均為替レート			
円/米ドル	112	137	135
円/ユーロ	131	139	140
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)	78	97	90
欧州天然ガス価格 (ユーロ/MWh)	69	166	118

2022年度配当金見通し (前回見通し\*から変更なし)

中間 27.5円/株 (決定), 期末 12.5円/株, 年間 40円/株

(21年度: 中間 27.5円/株 期末27.5円/株 年間55円/株)

## ◆ 通期業績見通しサマリー [前年度対比、前回見通し\*1対比]

(億円)

	21年度 実績	22年度 見通し	差異	増減率	22年度 前回見通し*1	前回見通し との差異	増減率
売上高	9,261	10,300	+1,039	+11.2%	10,500	-200	-1.9%
営業利益	442	100	-342	-77.4%	250	-150	-60.0%
経常利益	497	120	-377	-75.9%	290	-170	-58.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	232	-180	-412	-	160	-340	-
ROE *2	5.5%	-4%	-10%		4%	-8%	
営業利益ROIC *3	5.5%*9	1%	-5%		3%	-2%	
EBITDA *4	1,130	850	-280		1,000	-150	
フリー・キャッシュ・フロー	-1,087*10	150	+1,237		150	0	
設備投資 *5	2,008*10	600	-1,408		700	-100	
減価償却費 *6	688	750	+62		750	0	
研究開発費	333	340	+7		340	0	
D/Eレシオ *7	1.10	1.2	+0.1		1.1	+0.1	
D/Eレシオ (資本性調整後) *8	0.97	1.1	+0.1		1.0	+0.1	

\*1 2022年11月7日公表

\*2 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

\*3 「営業利益÷期首・期末平均投下資本\*」にて算出 (\*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

\*4 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出 \*5 設備投資には無形固定資産の取得を含む (M&amp;Aを含まず)

\*6 のれん償却含む \*7 「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

\*8 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

\*9 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

\*10 糖尿病薬販売権等承継による無形固定資産増 (1,324億円) を含む













## ◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前年度対比、前回見通し\*1対比]

					(億円)	
	21年度 実績*2	22年度 見通し	差異	増減率	22年度 前回見通し*1	前回見通し との差異
売上高						
マテリアル	3,851	4,650	+799	+20.7%	4,850	-200
ヘルスケア	1,751	1,550	-201	-11.5%	1,550	0
繊維・製品	2,825	3,200	+375	+13.3%	3,200	0
IT	538	600	+62	+11.6%	600	0
その他	296	300	+4	+1.3%	300	0
合計	9,261	10,300	+1,039	+11.2%	10,500	-200

					(億円)	
	21年度 実績*2	22年度 見通し	差異	増減率	22年度 前回見通し*1	前回見通し との差異
営業利益						
マテリアル	-57	-230	-173	-	-85	-145
ヘルスケア	433	235	-198	-45.7%	235	0
繊維・製品	56	95	+39	+68.4%	95	0
IT	97	90	-7	-7.2%	100	-10
その他	-23	-30	-7	-	-30	0
消去又は全社	-64	-60	+4	-	-65	+5
合計	442	100	-342	-77.4%	250	-150

## 営業利益見通しの方向感

	前年度対比	前回見通し*1対比
全体	 営業減益の見通し	 営業利益下方修正
-マテリアル	 米国一部工場での設備故障による生産性悪化 欧州拠点での労働力不足による生産性悪化や工場火災による生産量低下 原燃料価格のさらなる高騰	 欧州拠点での工場火災による生産量低下 米国一部工場での設備故障復旧後の立上げ遅延による生産性の改善遅れ
-ヘルスケア	 医薬品「フェブリク」の後発品参入による販売量減影響	 前回見通しから変化なし
-繊維・製品	 産業資材の自動車用途・衣料繊維はCOVID-19・海外工場ロックダウンからの回復での販売量増	 前回見通しから変化なし
-IT	 売上増および本社移転に伴う一時費用減を見込むが、マーケティング強化によるコスト増あり	 広告費増加

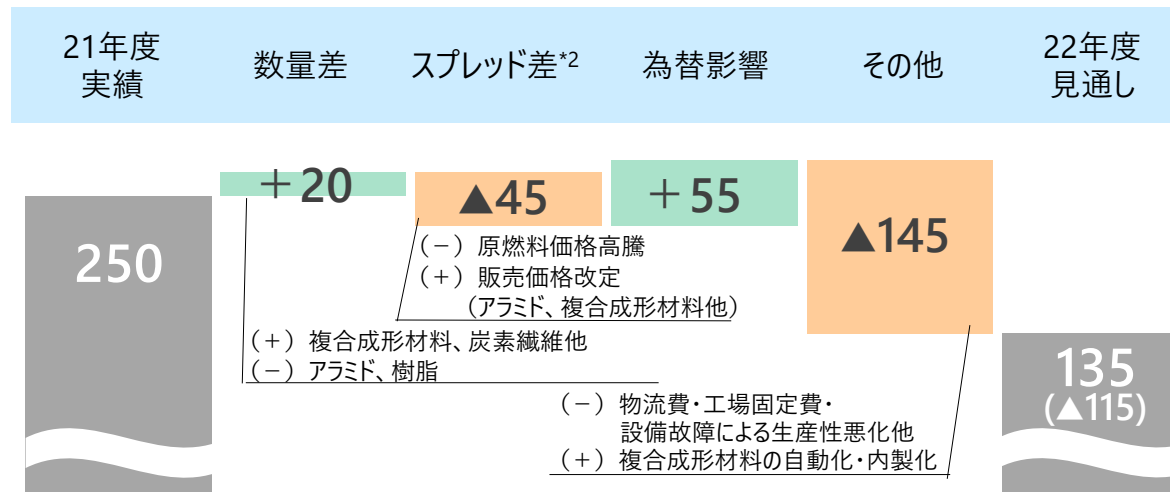
\*1 2022年11月7日公表

\*2 2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

◆ マテリアルセグメント [前年度対比、前回見通し\*1対比] < EBITDA増減内訳 >

	22年度見通し				差異	(億円)	
	21年度実績	22年度見通し 上期	22年度見通し 下期	計		22年度 前回見通し*1	前回見通しとの差異
売上高							
高機能材料	2,735	1,511	1,389	2,900	+165	3,100	-200
複合成形材料	1,116	814	936	1,750	+634	1,750	0
計	3,851	2,326	2,324	4,650	+799	4,850	-200
EBITDA	250	139	-4	135	-115	280	-145
減価償却費	307	183	182	365	+58	365	0
営業利益	-57	-45	-185	-230	-173	-85	-145
営業利益ROIC	-2%	-2%	-10%	-6%	-4%	-2%	-4%

< EBITDA増減内訳 >



営業利益見通しの方向感

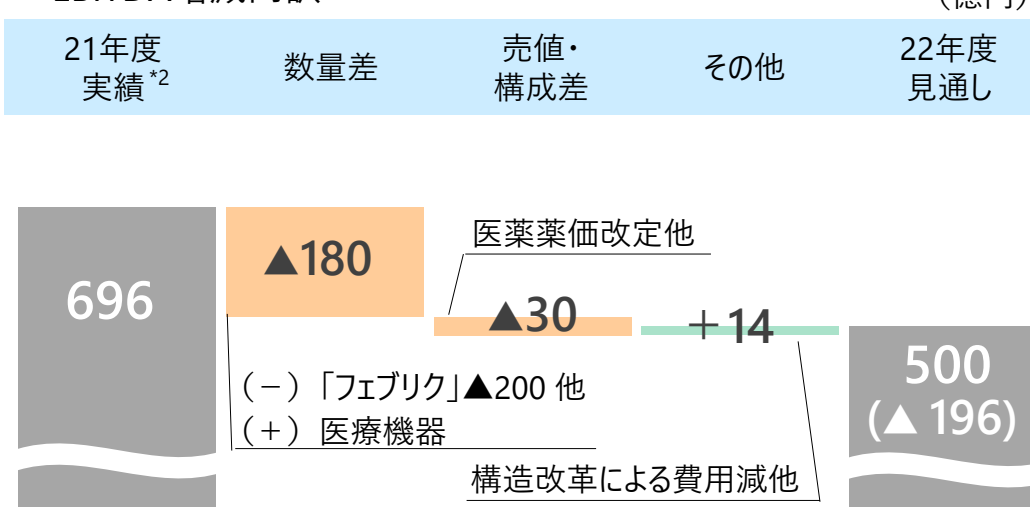
サブセグメント	前年度対比	前回見通し*1対比
アラミド	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州拠点の労働需給引き締めやサプライヤーの主要消耗品供給制約等による生産性悪化および原料工場火災による生産ライン休止等による生産量低下</li> <li>大型定修とその期間延長および原料工場停電による生産停止の影響解消</li> <li>原燃料価格の更なる高騰により、販売価格改定を進めるも採算性悪化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原料工場火災による生産ライン休止に伴う生産量低下</li> <li>天然ガス価格が想定を下回る水準で推移</li> </ul>
樹脂	<ul style="list-style-type: none"> <li>期首繰越在庫影響、中国ロックダウンおよびその後の経済減速影響、物流費高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定以上の中国ロックダウン後の経済減速影響</li> </ul>
炭素繊維	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機需要の堅調な回復に伴う販売量増</li> <li>北米新工場稼働による販売量増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原燃料価格が想定を下回る水準で推移</li> </ul>
複合成形材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国一部工場での設備故障による生産性悪化および追加費用の発生</li> <li>米国拠点の労働需給逼迫による労働力不足で低水準な生産性継続</li> <li>大型新プログラムによる販売量増加、半導体不足緩和によるOEM需要増</li> <li>原材料価格高騰の継続に対して複数のOEMとの販売価格改定交渉が妥結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国一部工場での設備故障復旧後の立上げ遅延による生産性の改善遅れ</li> <li>OEM部品不足による一部プログラムの販売量低下</li> </ul>

\*1 2022年11月7日公表 \*2 売値・構成差 + 原燃料単価差

◆ ヘルスケアセグメント [前年度対比、前回見通し\*1対比]

	(億円)					(億円)	
	21年度 実績*2	22年度見通し		差異	22年度 前回見通し*1	前回見通し との差異	
	上期	下期	計				
売上高	1,751	787	763	1,550	-201	1,550	0
EBITDA	696	277	223	500	-196	500	0
減価償却費	263	130	135	265	+2	265	0
営業利益	433	147	88	235	-198	235	0
営業利益ROIC	21%	16%	10%	12%	-9%	12%	0%

< EBITDA増減内訳 >



営業利益見通しの方向感

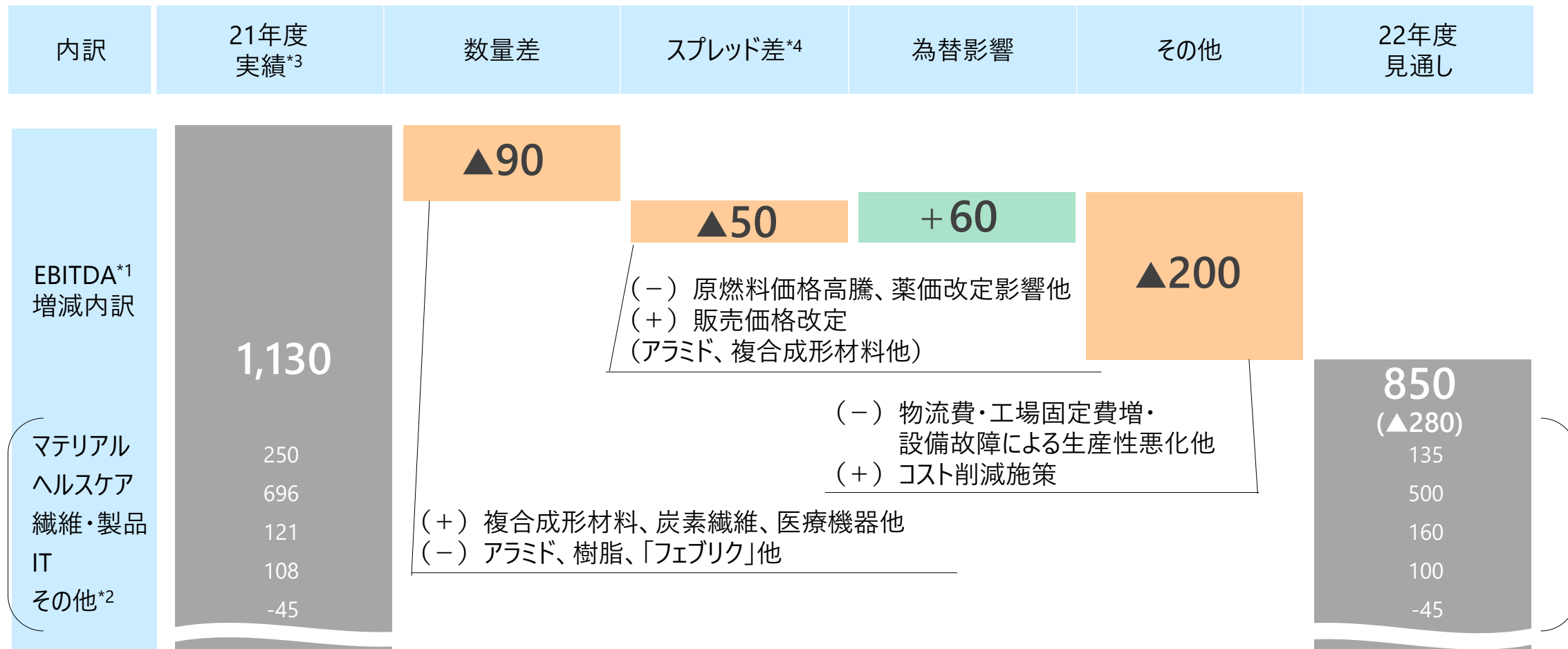
サブセグメント	前年度対比	前回見通し*1対比
医薬・在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品「フェブリク」の後発品参入による販売量減、薬価改定影響</li> <li>医療機器の販売量・レンタル台数増</li> <li>医薬・在宅医療の統合推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回見通しから変化なし</li> </ul>
新事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアの基盤構築継続</li> <li>機能性食品の製品ラインナップ拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回見通しから変化なし</li> </ul>

\*1 2022年11月7日公表

\*2 2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

## 2022年度業績見通し EBITDA増減要因（前年度対比）

- マテリアルでの増販やコスト削減施策の発現および為替影響による収益押し上げ効果はあるものの、米国拠点での設備故障による生産性悪化、欧州拠点での工場火災による生産量低下や労働力不足による生産性悪化、天然ガス価格の高騰影響、またヘルスケアの医薬品「フェブリク」の後発品参入影響等により、EBITDA減少を見込む
- （億円）



\*1 「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出 \*2 その他は「その他」および「消去又は全社」の合計としている

\*3 2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

\*4 売値・構成差＋原燃料単価差

## 財務健全性・株主還元方針

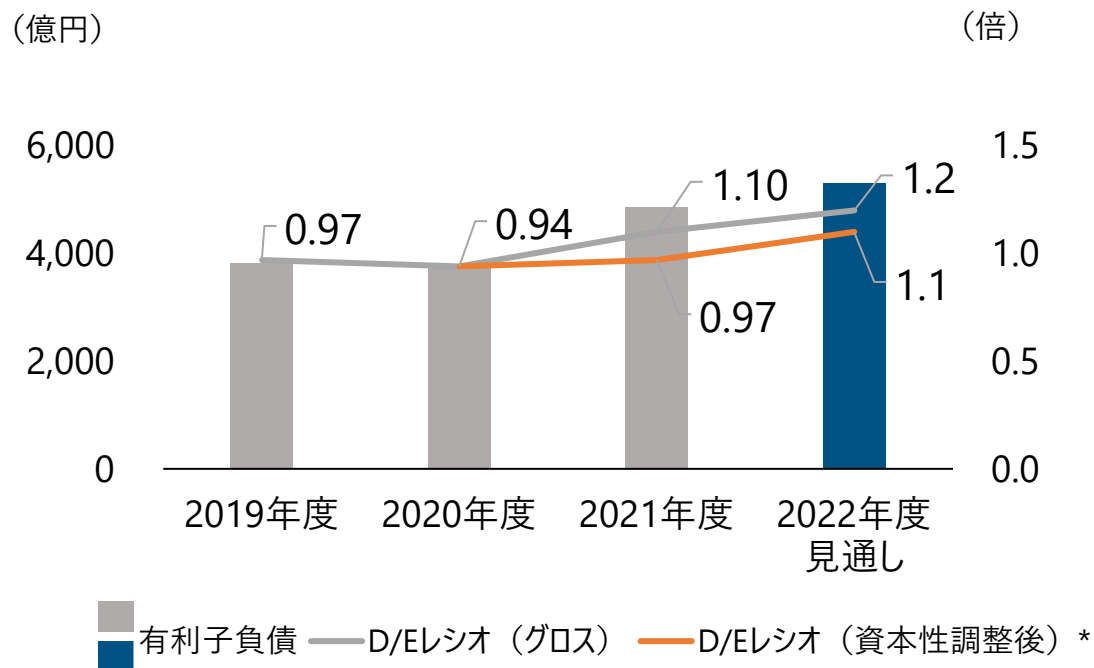
### 財務健全性

- 2021年4月の武田薬品工業(株)からの糖尿病治療剤の販売権取得に伴う負債増加、および、業績の悪化により財務体質は悪化。2022年度末も中期計画で目安と位置づけていた「D/Eレシオ 0.9（資本性調整後）」を上回る水準となる見通し

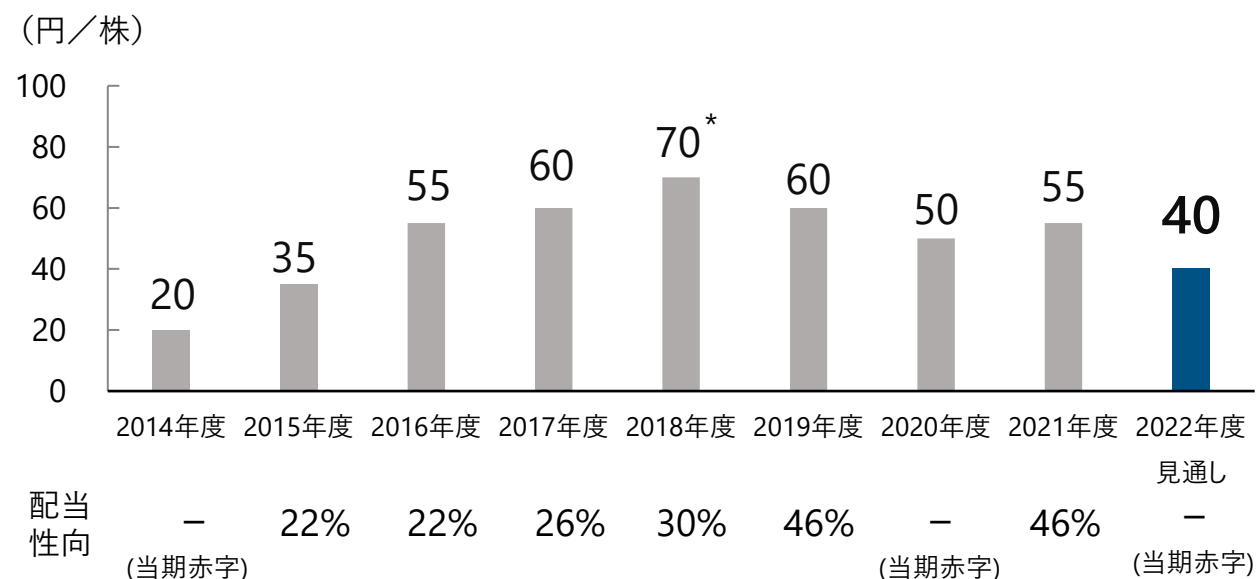
### 株主還元方針

- 「安定的・継続的な配当」・「中期的な配当性向は当期純利益の30%を目安」とする配当方針は変えず
- 2022年度の1株当たり配当金については、中間27.5円、期末見通し12.5円の年間40円とした前回見通しを据え置く（15円/年の前年度比減配）

有利子負債・D/Eレシオ推移



一株当たり配当金推移



\*100周年記念配当10円/株を含む

\*劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

注）2016年10月1日をもって普通株式5株を1株に併合。配当金は株式併合の影響を踏まえて換算

### 3. 参考資料

## アラミドのオランダ拠点での原料工場火災の概要

- 帝人グループでアラミド事業を展開しているテイジン・アラミド B.V.（蘭）の原料工場において火災が発生
- 発生場所：テイジン・アラミドB.V.（蘭）原料工場
- 発生日：2022年12月3日（土）夕方（現地時間）（1時間以内に鎮火）
- 出火原因：設備からの原料漏洩が原因と判明
- 被害状況：人的被害/環境被害なし。火災の範囲は原料工場の一部であり設備の被害は限定的
- 稼働状況
  - 原料工程：現在停止中だが、生産再開に目途
  - 紡糸工程：稼働を落として生産を継続しているが、3月初から最終製品生産の稼働を向上できる見込み
- 当年度の業績への影響
  - 焼失した設備簿価・復旧費用は軽微。一方で、主に販売量および設備稼働率の減少により、マテリアルの業績に大きな影響を及ぼす見通し

弊社では今回の事案発生を真摯に受け止め、再発防止に努めるとともに防災体制の強化に尽力してまいります。

## 定常的な損益影響要因

セグメント	主な特徴
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"><li>アラミド大型定修は3年に一度（次回は2024年度1Q）</li><li>樹脂は毎年2Q、3Qに定修</li></ul>
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"><li>4Qに経費集中傾向</li></ul>
繊維・製品	<ul style="list-style-type: none"><li>衣料関係は3Qが秋冬物・4Qが春物シーズン</li></ul>
IT	<ul style="list-style-type: none"><li>2Q、4Qはシステム検収時期で納入増</li></ul>

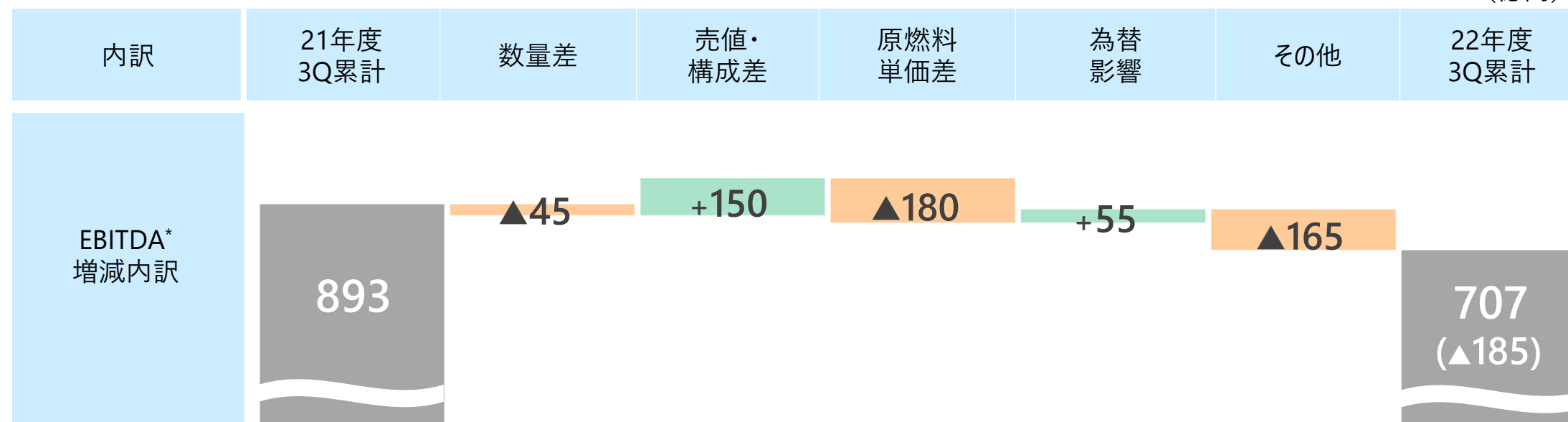


## ◆ EBITDA\*増減（連結合計） [前年同期対比]

（億円）

	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
売上高	6,870	7,651	+781	+11.4%
EBITDA*	893	707	-185	-20.8%
減価償却費	511	559	+48	+9.4%
営業利益	382	148	-233	-61.1%
営業利益ROIC	6.4%	2.4%	-4.0%	-

（億円）



\* 「営業利益 + 減価償却費（のれんを含む）」にて算出

## ◆ セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移 [前年同四半期対比、直前四半期対比]

(億円)

	21年度*					22年度			差異	差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	22/3Q -21/3Q	22/3Q -22/2Q
売上高										
高機能材料	693	703	663	675	2,735	699	812	723	+59	-89
複合成形材料	264	248	274	330	1,116	375	440	416	+143	-23
マテリアル 計	958	950	937	1,006	3,851	1,074	1,252	1,139	+202	-113
ヘルスケア	440	430	466	415	1,751	436	351	365	-101	+14
繊維・製品	655	680	734	756	2,825	736	848	821	+87	-27
IT	135	137	126	139	538	129	144	143	+18	-0
その他	71	77	73	75	296	63	72	78	+4	+6
合計	2,259	2,275	2,336	2,390	9,261	2,438	2,666	2,546	+210	-120
営業利益										
マテリアル	21	12	-81	-9	-57	-7	-37	-75	+5	-38
ヘルスケア	133	109	134	57	433	108	39	52	-82	+13
繊維・製品	20	16	9	11	56	19	34	29	+19	-5
IT	21	27	21	29	97	15	20	19	-1	-0
その他	-4	-7	-2	-9	-23	-11	-8	-4	-1	+4
消去又は全社	-19	-13	-14	-19	-64	-15	-12	-15	-2	-3
合計	173	142	67	60	442	108	35	6	-61	-29

\*2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。  
それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

## ◆ 連結損益計算書 四半期推移

	21年度				22年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	2,259	2,275	2,336	2,390	2,438	2,666	2,546
売上原価	1,550	1,587	1,699	1,714	1,749	2,040	1,968
売上総利益	709	688	638	676	689	626	578
販管費	536	546	571	616	581	592	572
営業利益	173	142	67	60	108	35	6
営業外損益	12	-0	20	23	35	22	-31
（内 金融収支）	-2	-5	-4	-5	-4	-11	-20
（内 持分法投資損益）	15	14	14	12	12	13	13
経常利益	184	142	87	84	143	57	-25
特別損益	-19	34	8	-78	2	-4	-81
税金等調整前四半期純利益	165	176	94	6	145	53	-106
法人税等	61	51	45	24	67	43	39
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7	7	7	8	5	7	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	118	43	-27	73	3	-146

(億円)

## ◆ 連結貸借対照表 四半期推移

(億円)

	21年度				22年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産							
流動資産	5,389	5,517	5,537	5,720	6,030	6,331	6,088
固定資産	6,461	6,171	6,220	6,356	6,623	6,720	6,302
<b>合計</b>	<b>11,850</b>	<b>11,688</b>	<b>11,757</b>	<b>12,076</b>	<b>12,653</b>	<b>13,051</b>	<b>12,390</b>
負債・純資産							
負債	7,439	7,182	7,209	7,428	7,854	8,222	7,863
(内 有利子負債)	5,029	4,828	4,729	4,852	5,178	5,447	5,236
純資産	4,411	4,506	4,548	4,648	4,799	4,829	4,527
<b>合計</b>	<b>11,850</b>	<b>11,688</b>	<b>11,757</b>	<b>12,076</b>	<b>12,653</b>	<b>13,051</b>	<b>12,390</b>

## ◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前年度対比]

(億円)

	21年度実績*			22年度見通し			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高									
高機能材料	1,396	1,339	2,735	1,511	1,389	2,900	+115	+50	+165
複合成形材料	512	604	1,116	814	936	1,750	+302	+332	+634
マテリアル計	1,908	1,943	3,851	2,326	2,324	4,650	+417	+382	+799
ヘルスケア	869	882	1,751	787	763	1,550	-82	-119	-201
繊維・製品	1,335	1,489	2,825	1,584	1,616	3,200	+249	+126	+375
IT	273	265	538	273	327	600	-0	+63	+62
その他	148	148	296	135	165	300	-13	+17	+4
<b>合計</b>	<b>4,534</b>	<b>4,727</b>	<b>9,261</b>	<b>5,105</b>	<b>5,195</b>	<b>10,300</b>	<b>+571</b>	<b>+469</b>	<b>+1,039</b>
営業利益									
マテリアル	33	-90	-57	-45	-185	-230	-77	-96	-173
ヘルスケア	242	191	433	147	88	235	-95	-102	-198
繊維・製品	36	21	56	53	42	95	+17	+22	+39
IT	48	49	97	35	55	90	-13	+6	-7
その他	-12	-11	-23	-19	-11	-30	-8	+1	-7
消去又は全社	-32	-32	-64	-28	-32	-60	+4	+0	+4
<b>合計</b>	<b>315</b>	<b>127</b>	<b>442</b>	<b>142</b>	<b>-42</b>	<b>100</b>	<b>-172</b>	<b>-170</b>	<b>-342</b>

\* 2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。  
それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

## ◆ セグメント別経営指標 [前年度対比、前回見通し\*1対比]

(億円)

	21年度 実績*2	22年度 見通し	差異	22年度 前回見通し*1	前回見通し との差異
EBITDA*3					
マテリアル	250	135	-115	280	-145
ヘルスケア	696	500	-196	500	0
繊維・製品	121	160	+39	160	0
IT	108	100	-8	110	-10
その他	10	5	-5	5	0
消去又は全社	-55	-50	+5	-55	+5
<b>合計</b>	<b>1,130</b>	<b>850</b>	<b>-280</b>	<b>1,000</b>	<b>-150</b>
営業利益ROIC*4					
マテリアル	-2%	-6%	-4%	-2%	-4%
ヘルスケア	21%*5	12%	-9%	12%	0%
繊維・製品	4%	7%	+3%	7%	0%
IT	61%	52%	-9%	58%	-6%
<b>合計</b>	<b>5.5%*5</b>	<b>1%</b>	<b>-5%</b>	<b>3%</b>	<b>-2%</b>

\*1 2022年11月7日公表

\*2 2022年度より埋込型医療機器事業について、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ区分変更を実施。それに伴い2021年度の情報は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で表示している

\*3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

\*4 「営業利益 ÷ 期首・期末平均投下資本\*」にて算出

(\*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

\*5 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

## ◆ 主要経営指標推移

	17年度 実績 <sup>*6</sup>	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 見通し
ROE <sup>*1</sup>	12.5%	11.2%	6.3%	-1.7%	5.5%	-4%
営業利益ROIC <sup>*2</sup>	11.2%	9.3%	8.7%	8.6%	5.5% <sup>*7</sup>	1%
EBITDA <sup>*3</sup> (億円)	1,155	1,076	1,072	1,068	1,130	850
1株当たり当期純利益 (円)	231.3	232.4	131.6	-34.7	120.6	-93.6
1株当たり配当金 (円)	60	70 <sup>*</sup>	60	50	55	40
*100周年記念配当 10円/株を含む						
総資産 (億円)	9,820	10,207	10,042	10,411	12,076	12,300
有利子負債 (億円)	3,442	3,692	3,819	3,800	4,852	5,300
D/Eレシオ <sup>*4</sup>	0.88	0.90	0.97	0.94	1.10	1.2
D/Eレシオ (資本性調整後) <sup>*5</sup>	-	-	-	-	0.97	1.1
自己資本比率	40.0%	40.2%	39.3%	39.0%	36.4%	34%

\*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

\*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本<sup>\*</sup>」にて算出 (\*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

\*3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

\*4 「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

\*5 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

\*6 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を18年度から適用しており、17年度実績については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載

\*7 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

## ◆ 主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	21年度					22年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q
フェブリク®	痛風・高尿酸血症治療剤	96	97	106	89	388	87	17	23
糖尿病治療剤四剤合計		75	70	74	56	275	69	62	67
ネシーナ®	2型糖尿病治療剤	36	33	35	27	131	34	31	33
イニシク®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	21	20	21	17	79	20	18	20
リオベル®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	12	10	11	8	41	10	9	9
ザファテック®	2型糖尿病治療剤	7	6	7	5	25	5	5	4
ボナロン®*1	骨粗鬆症治療剤	20	20	21	17	78	18	18	18
ソマチユリン®*2	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤	13	13	15	12	54	14	14	15
ベニロン®	重症感染症治療剤	12	12	13	9	46	10	11	12
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	5	6	4	20	5	5	5
ゼオマイン®*3	上下肢痙縮治療剤	0.5	2	4	4	10	4	4	5
ムコソルバン®	去痰剤	5	5	7	5	22	4	4	5

\*1 ボナロン®/Bonalon® はNV Organon(蘭)の登録商標です \*2 ソマチユリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏)の登録商標です

\*3 ゼオマイン®/Xeomin®は、Merz Pharma GmbH &amp; Co, KGaA (独)の登録商標です



◆ 非財務情報 ESG外部評価

GPIFの5つのESG指数全ての構成銘柄に採用されています



FTSE Blossom  
Japan Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



2022 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社の組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

SRI（社会的責任投資）インデックスに組み入れられています

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



MSCI ESG格付評価において最上位の「AAA」を獲得しました

MSCI  
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA **AAA**

日経SDGs経営調査で総合ランキング35位の高い評価を得ています



・ 4分野全てにおいて「S以上」の高評価

経営調査 2022 ★★★★★

ESGへの取り組みが優れている企業として、2つの国内プログラムに選定されています

「なでしこ」女性活躍推進

健康経営推進



***TEIJIN***

*Human Chemistry, Human Solutions*